

みんな みんな

2006年 5月 30日 Vol. 51

特定非営利活動法人

せんだい・みやぎNPOセンター 事務局通信

世界のつながり方 - 支援の支援の支援

日本の多くの会社や学校やNPOは、そろそろ新年度スタートの慌しさが落ち着いてきた頃ではないでしょうか。「1年生になったら友だち100人できるかな」…そんな歌もありますが、あなたには友だちは何人いますか。

聞くとところによると、間（あいだ）に6人たどれば、世界中の人とつながることができるそうです。例えば、あなたとあの世界的大スターも、自分に関係ないやと思っていた凶悪な事件の犯人も、あなたの「友だちの友だちの…」友だちなのです。

NPOは誰かを／何かを支援しています。そのNPOをせんだい・みやぎNPOセンターは支援しています。今この「みんな」を手にとっているあなたは、そのせんだい・みやぎNPOセンターを支援しているはずで、それは、目に見えるものであったり、見えないものであったりします。資金は大事ですが、それだけでなく、情報だったり、技術だったり、応援する気持ちも同じように大事です。あなたは既に社会の誰か／何かを「支援の支援の」支援しているのです。そして同じように、誰か／何かに支援されています。

え？今まで気がついていなかったのですか？それはもったいない。あなたの支援はちゃんと世界とつながっていましたよ。ただしどんな風につながっていたかは、是非自分で確かめに行ってください。間に6つのNPOがあれば、世界は支援の輪でつながるのかもしれませんが。今年もせんだいCARESの実行委員会が動き始めました。これまで目に見えない支援が多かったあなたは、この機会に目に見える支援の支援の支援に参画してみませんか。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 田代久美

内 容

5月からの活動紹介、SC移転情報紹介
セナードサロン、新スタッフ紹介
らくだのブクブク、BOOK、事務局活動報告、など



イラスト 高橋 陽佑

サポート
お願いします!

<SSSの事務局体制強化> と <SC移転>

～2006年5月からのせんだい・みやぎNPOセンターの活動紹介～

せんだい・みやぎNPOセンターでは、今年5月から右記の事業に取り組んでいく予定です。今年は事業の<継続 + リニューアル>を武器にして、成果の厚みをより一層増したものにしていきたいと思ひます。

<せんだい・みやぎ>での市民社会づくりに向けて、皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

●サポート資源提供システム●

全国的にも注目されているサポート資源提供システム（以下、SSS）が稼働して、もう5年目に入ります。試験運用から4年で、なんと3000万円以上の什器備品・中古PC・資金を、NPOの皆さんに提供してきました。当センターとしては、毎年200万円の持ち出し自主事業ですが1000万円の支援に化けるのだとしたら、お安い持ち出しではありませんか！（ちょっとやせ我慢していますが...）

さて、5年目の今年の方針は、毎年5月頃に開催しているSSS運営委員会に意見をはかり決めてあります。運営委員をお願いしているのは、SSSへの協賛金を提供していただいている企業・団体とSSSを通して助成等を行う提携企業・団体の皆さんです。皆さん忙しいビジネスの合間に、SSSのために知恵を出し、汗をかいていただいています。

昨年来、NPO法人の不祥事が相次ぎました。助成金関係でも不正が発覚し話題になりました。助成の評価と共に、監査の必要性を感じております。

また、より多くの地元企業の皆さんに、NPOと出会い、地域づくりに参画していただきたいと考えており、セミナーなどを開催したいと思っています。それ以外は、SSSやNPO情報ライブラリーの本旨をもっとNPOの皆さんに知ってもらえるように広報にもチカラを入れたいと思っています。（担当理事：加藤哲夫）

●ニュー・サポセンをお楽しみに●

仙台市市民活動サポートセンター（以下、SC）が、開館以来7年目にして本町2丁目の地を離れ、広瀬通り東二番丁角の北西側に移転します。現在は、日専連ビブと呼ばれている建物が新SCとなります。新SCの基本機能は、現在と大きくは変わりませんが、地下に市民活動シアターが新設される等、貸室のバリエーションが豊富になります。シアターは、市民活動や音楽や演劇などの文化芸術活動を対象とした貸室です。

新しい器を得て、貸室料金等は若干高くなりますが、新しいサービスの提供に向けた準備が急ピッチで進められています。

新しいサービスとは何でしょうか？

新SCでは、現在と同様に地域や全国の市民活動情報の収集、仙台の市民活動情報の発信をベースとして、相談、インキュベート（孵卵）、交流の各機能の強化に取り組んでいきます。

相談は、プロ相談職員の育成を通じて”NPOのお困りごと相談”、”市民活動起業支援”など様々な相談ニーズへの対応に取り組みます。インキュベートでは、事務用ブース入居者の業立ちや利用団体のステップアップを中心に支援します。交流は、交流サロンの充実とともに新SC内の随所にチョット溜まれる居心地の良いスペースづくりを通じて、交流機会の誘発に努めます。新しさ満載、9月1日の開館にご期待ください。（移転担当理事：黒澤 学）

●今年（2006.5現在）の主な事業紹介

事業名	事業内容
サポート資源提供システム	2001年9月から、企業や市民と連携し資金（みんなファンド）・物品・PCなどをNPOに提供し、新しい社会貢献を進めています。多くのNPOに利用され感謝の声もたくさん届いています。本システムは運営委員会（現在15企業・団体）が運営しています。皆さん、仙台・宮城のNPOと一緒に盛り上げましょう！
NPO情報ライブラリー	NPOの情報発信を支援し、社会への情報提供を促進することで、NPOの社会的信頼と認知度の向上を目指す仕組みです。現在ご登録いただいている140団体の情報は、団体ごとにファイリングされ、当センター事務局内で公開される他、一部の情報はインターネット上でも広く公開されます。詳しくは事務局までお問い合わせを！
「協働の強化書」研究会	当研究会の目的は、市民による市民のための協働の手引書「協働の強化書」を発行することであり、市民活動団体・行政、2つのセクターが提携・協働して研究会を組織しています。1年間の研究活動の中で、アンケート調査、ヒアリング、ケーススタディを行い、その報告書として「協働の強化書」を編集・発行します。（宮城県共同募金配分金事業）
コミュニティビジネス起業家セミナー	地域の課題解決型事業をつくりたい方向けの講座です。今年度はく中・中年・シニア向け＜入門者向け＞＜本格的に学び実践したい方向け＞の3タイプを実施。特にく中・中年・シニア向け＞では、団塊の世代を含めた方々にやりがいがあり、自分の経験が生きて、そして老後のプランを踏まえた起業について分かりやすく紹介します。シートへの記入を通して、自らの起業と真剣に向き合います。今年も主催の（財）仙台市産業振興事業団と企画・実施の当センターが協働することで相乗効果を狙います。また、自主事業（共催）としてサロンの開催やメールマガジンの発行も予定中。
セクターサロン	分野を超えた市民活動のネットワークづくりを目的に、市民活動団体や市民活動に関心のある人たちが、様々なテーマで気軽に語り合える広場としてサロンを実施中です。
行政の市民参加型事業のコンサルティング	自治体の施策を市民参加で実施する際のコンサルティングやコーディネートを行います。お問い合わせお待ちしております。
まち美化キャンペーン	ごみのない快適なまちづくりのため、市民、事業者、行政が協働でアレマキャンペーンを実施します。昨年度、大好評だった「まち美化達人になるためのお役立ち・連続セミナー」も開催。主催：仙台市、企画・実施：当センター
クリーン仙台推進員	仙台市の町内会からごみ減量とリサイクル、環境美化、不法投棄監視という大役を担っているクリーン仙台推進員の研修をしています。ここ数年、どんどんパワーアップする推進員さんたち。NHKご近所の底力登場も間近だよん！！主催：仙台市
市民トラストの森	昨年度は、市民協働による森づくりを講座とフィールドワークの実践をとおした検討を行ってきました。事業終了後には、講座受講生が中心となり「せんだい・市民の森を創る会」を発足させました。引き続き、市民が主体となり積極的に緑地の支持管理および活用などを行う市民参加システムの構築と組織づくりの支援に取り組みます。主催：仙台市
緑の市民ネットワーク策定	昨年度に引き続き、緑の市民活動に取り組む意欲ある市民や市民活動団体の活動が活性化するように環境整備を進めるために、情報交換・交流の場づくりと情報紙の企画・編集に取り組みます。情報紙の編集に関わってみたい方は、事務局までお問合せください。主催：仙台市
市民活動サポートセンター	1999年の開館から、当センターが指定管理者として（2004年度より）管理運営を行うサポートセンターは今年で丸7年を迎えます。今年9月に、慣れ親しんだ本町の建物から移転することが決まり、現在急ピッチで移転準備を進めています。移転作業と並行して、今年度も、市民活動の場・情報の提供、相談対応、市民活動を担う人材育成のための講座事業等を実施していきます。具体的には、骨プロなどの、市民活動団体情報を引き続きより多くの市民に活用していただくための整備、より個別の相談への対応、人材育成事業、市民活動起業講座、協働相談等の市民活動を担う市民が学ぶ機会の創出、そして、市民と市民活動が出会い交流できる場の提供など、さまざまな事業を精力的に行っていきたいと思っております。移転にともない、8月中休館をさせていただき、ご不便をおかけしますがご理解ご協力をお願いいたします。また、移転に関する情報は、サポートセンター通信「ばれっと」、ホームページなどをご覧ください。設置者：仙台市
せんだいCARES	仙台のまちのお世話（ケア）をしているNPOの活動に、一緒に参加するきっかけと情報を提供し、仙台のまちづくりを市民参加で活発にする市民参加型まちづくりキャンペーンです。今年のせんだいCARES2006で4回目を迎えます。実行委員会形式で、市民、学生、NPOのスタッフ、行政職員などが力を出し合い運営しています。主催：せんだいCARES実行委員会

お待たせしました！

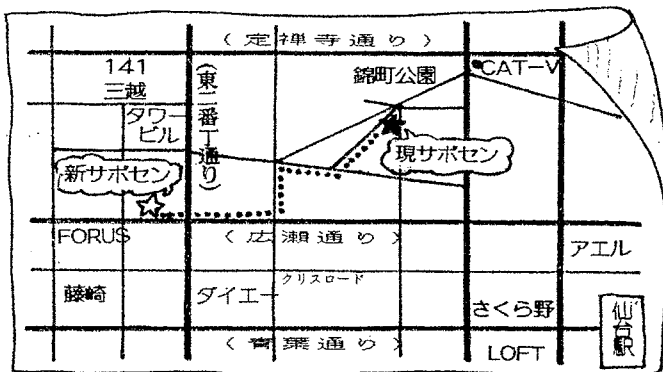
もっと詳しい

市民活動サポートセンター移転関連情報

せんだいみやぎNPOセンターが、指定管理者として管理運営を行っている「仙台市民活動サポートセンター」の移転が決まり、現在準備を進めています。

今回は新サポートセンター(以下、新サポセン)の機能やサービスなどについて、現在確定しているより詳しい情報を、サポートセンター通信「ばれっと」から抜粋しお知らせします！

新サポセンへの行き方を知りたい！



新サポセンは、現在のサポセンに比べると広瀬通りに面しているため大変分かりやすい立地です。広瀬通りと東二番丁通りの交差する角から二軒目、現在は日専連“ピーブ”と呼ばれ、地上7階地下1階、大理石張りの重厚感あふれる建物です。

地下鉄「広瀬通駅」西5番出口を出てすぐ右手にあります。初めておいでになる方ももう迷う心配はありません！

■ 9月からの新所在地

〒980-0811

仙台市青葉区一番町4丁目1-3

電話・FAX 番号は現在と同じです。

新サポセンはどのように利用できるの？

現在のメモ台付イスから、他の貸室同様テーブルとイスのタイプになりより一層使いやすくなります！

さまざまな人数に対応する研修室が5つ。皆さんの要望が強かった託児にも使える床に座るタイプの部屋もあります！

文化芸術活動のための貸室が登場。現在の貸室では出来なかった歌・踊りもここならOK。新たな文化の発信にどうぞ活用ください！

共同事務室、交流サロン	7F
貸室(セミナーホール)	6F
交流サロン、ロッカー	5F
貸室(研修室)	4F
貸室(研修室)、交流サロン	3F
事務局	2F
印刷作業室、情報サロン、各種申込受付、事務局	1F
貸室(市民活動シアター)	B1F

現在2ヶ所に分かれている共同事務室が1ヶ所に集まりました。団体間の交流も活発になり、活動の幅のますますの広がりが期待できますね！

交流サロンとロッカーが同じフロアになるので、事務作業しながらの打合せがとても便利になります！パソコン利用ケーブルも新設予定です。

市民活動の情報はここに集まります。現在2ヶ所に分かれている受付も1ヶ所になり、窓口対応も充実。また、情報サロンでは常に皆さまのさまざまな相談にすぐに対応できるよう体制を整えます！

**レターケースやロッカーは
今までと同じように使えるの？**

現在ご利用いただいている第7期のレターケースとロッカーの使用期間は7月末までになります。第8期は9/1～来年8/末の使用期間となり、申込受付期間は6/6～22になります。

毎回申込み多数で抽選になっていた現在のロッカー（大）が（中）という表示になり、数も増えます！さらに、現在の（大）の約2倍の大きさのロッカーが（大）として新設されます！

	料金 (1ヶ月)	貸出数
レターケース	無料	168
ロッカー(小)	400円	80
ロッカー(中)※現在の大	800円	28(予定)
ロッカー(大)※新設!	1200円	10(予定)

レターケースを第8期も継続利用される団体の8月休館中の利用については、郵便物という性質上、ご不便のかわからない方法を検討しております。

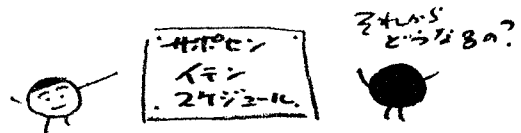
貸室の料金はどのようになるの？

	料金(1時間)
セミナーホール	1600円
研修室(50㎡超・1室)	800円
研修室(50㎡未満・4室)	400円

貸室料金は上記の通りです。定員は現在検中でです。決まり次第、館内チラシ、ばれっと、ホームページ等でお知らせします。なお、新サポセンの9月からの貸室申込みは6/6より受付になります。

事務用ブースはどのようになるの？

事務用ブース(共同事務室)の第8期の使用期間は9/1～来年8/末となり、申込受付期間は6/16～29となります。料金は1ヶ月7000円、広さは約4㎡、新規・継続利用団体あわせて10ブースの募集になります。



市民活動シアターの申込みはいつから？

市民活動シアターは6ヶ月前からの申込みが可能です。11/1からの利用申込は、6/6より受付いたします。(9、10月は準備期間のため一般貸出は行いません。)

全日使用の受付は6ヶ月前から始まります。また、3ヶ月前から区分使用(午前・午後・夜間)、1ヶ月前から時間使用(1時間単位)の受付が始まります。

さらに長期利用は割引があります。区分利用料金及び長期利用料金についての詳細は今後のばれっとでお伝えします。

【全日使用の場合】

曜日	使用時間	料金
月～土	9～22時	8万円
日・祝	9～18時	4万円

■今後のスケジュール

6/6(火)	■レターケース・ロッカー 第8期(H18.9～H19.8月末) 申込受付開始
	■新サポセン貸室申込受付開始
6/16(金)	■共同事務室第8期申込受付開始
6/22(木)	■レターケース・ロッカーの申込締切
6/29(木)	■共同事務室の申込締切
7/～	■新サポセン改修工事
7/4(火)	■ロッカー抽選会
7/22(土)	■共同事務室申込団体ヒアリング
7/末	■現在のサポセン“クロージング” セレモニー
8/1～31	■サポセン休館 ※新サポセンの内覧会を実施予定。詳しい日程は今後のばれっとと館内配布チラシでお知らせします。
9/1(金)	■新サポセン開館!

報告
第11回 評議員会

貴重なご意見ありがとうございました

開会の際に市民活動サポートセンターの移転の準備状況をお伝えし、本町で開催する最後の評議員会が始まりました。前半は、加藤代表理事が2005年度の重点強化事業の成果を中心に報告を行い、後半は、評議員と理事が4テーブルにわかれて、意見交換を行いました。

話題としては、①「企業とNPOの連携」②「NPOと地域社会との連携」③「行政とNPOの協働と指定管理のあり方」④「人材育成」に関するご意見が多かったです。具体的には、企業関係者からは、情報と機会提供を求める声や、特に団塊の世代へのアプローチを求める提案。一方、企業の方からは地域やNPO担当部署の人員が縮小した現状も報告されました。地域社

- ・日時：2006年4月25日（火）18:15～20:15
- ・場所：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール
- ・出席：評議員17名（NPO：14、企業：3）
理事4名、事務局：6名（合計：27名）

会との関係においては、コミュニティ（自治体、町内会など）と市民活動の隔たりの課題にどう取り組んでいくか。行政との協働では、指定管理のあり方や苦勞など、実体験に基づいて行政とNPO側の視点から意見が交わされました。NPOでの人材育成については、1つの団体で対応するには無理がでることもあるので、地域で人材を育て合う仕組みが必要ではないかと。

その他、具体的な提案としては、遺言信託やNPO向け融資のしくみの開発、NPOの拠点づくりの支援や公益法人制度改革の動向について情報発信の強化を求める声もありました。

私は、これからセンターが何にどう取り組んでいくか、テーマごとに議論を深めていく機会づくりが求められていると感じました。

（青木ユカリ）

＜平成18年度事業実施団体＞

●人材育成（7団体）

特定非営利活動法人おひさまくらぶ
特定非営利活動法人すくすく保育研究所
地域生活支援 オレンジねっと
SV2004

特定非営利活動法人ふるま・ねっと・みやぎ
東北HIVコミュニケーションズ（THC）
角田まちづくり福祉ほっとの会

●スタートアップ（7団体）

まち遺産ネット仙台
特定非営利活動法人みやぎ「こうでねいと」
（仮）小規模作業所ネットワーク
特定非営利活動法人TERAKOYA
特定非営利活動法人みやぎダンス
気仙沼スケートボード協会
特定非営利活動法人グリーンライフ東北

●ステップアップ（継続 3団体）

移動サービス・ネットワーク みやぎ
特定非営利活動法人仙台夜まわりグループ
子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ

3年目を迎える「みやぎNPO夢ファンド」は、宮城県
の拠出金と市民・企業の寄付
金からなるファンドで、みん
みんファンドの3番目の冠フ
ァンドです。県内のNPOの
自主・自立的な活動を促進す
るために設置・運営されてい
ます。このファンドを県と、
協働で設置・運営しているの
が、当センターです。平成18
年度「みやぎNPO夢ファン
ド」は、4月に書類受付・書
類審査を無事に終え、書類審査
を通過した全21団体が5月20
日・21日に最終公開審査を受け
ました。今回は、人材育成プロ
グラムとスタートアッププログ
ラム助成団体が7団体ずつ決定
しました。この14団体に、昨年
からの継続が1月に認められた
ステップアッププログラムの3
団体を加えた17団体が、事業を
実施します。事業の内容は、ホ
ームページからぜひともご覧下
さいませ。（大友和佳子）

みやぎNPO夢ファンド 助成決定！

今年の事業実施は、17団体。活動に期待！

報告
センドードサロン

■2006年4月27日

〈農〉と〈子ども〉のコラボレーション～
1+1=∞ (無限大)～

4月のセンドードサロンは、「異分野NPO交流会 〈農〉と〈子ども〉のコラボレーション～1+1=∞ (無限大)～」と題して、農業体験や自然体験を主な活動として行っているNPOと、フリースクールやスポーツなどで子どもに関連したNPOの交流会を開催しました。

交流会の内容は、はじめに参加者個人の自己紹介をしたあと、団体ごとに活動内容を紹介していただき、そして2グループに分かれてのトークタイムを行いました。

団体の活動内容の紹介でそれぞれの活動内容を共有した後、トークタイムでは是非話しを聞いてみたい団体と直接話し合い、また「広報をどのようにしたらよいか」や「体験活動の場所への移動手段をどのように確保するか」など、お互いの困りごとや知りたいことなどについて情報交換をしました。参加者からは、「6月のイベントにもつながった」という声や「ねらいの団体をみつけた」などの声が聞かれました。

4月は就職、転勤、進学など新たな出会いの時期であり、そして様々なスタートの時期です。NPOの多くも4月ごろに年間の活動を計画し始める時期であり、今回はコラボレーションが生まれる良いキッカケとなりました。(八田篤司)

● **新スタッフ紹介** ●
3月から勤務をはじめました

＜高橋 陽佑＞

出身地：宮城県大河原町、特技：水泳および芸術を愛し賞賛すること。

抱負：楽天イーグルス・ボランティアが仙台に与える影響を卒論で研究するうちにNPOに興味を持ちました。社会人1年生、市民活動においてもほぼ1年生。経験が浅い分学ばなければいけない事は多々ありますが、多くを吸収して仙台を盛り上げていきたいです。(SC常勤)

＜千葉 やす恵＞

出身地：宮城県栗原市、特技：スノーボード、ドライブ(温泉・美術館・知らない街巡り)

抱負：栃木の大学で4年間を過ごし、この春宮城に戻ってきたばかりです。まちづくりや環境に興味があります。一年中イベントのある街・仙台という街の特徴に便乗し、新たなフィールドとネットワークを探したいと思っています。(SC常勤)

＜内川 奈津子＞

出身地：長野県松本市、特技：折り紙

抱負：仙台の街そのものに興味があります。どこでどのような団体が活動しているのか？いつイベントがあるのか？そういった事が、すぐ分かるようなポータルサイトの構築をいつかしたいです。まずは、移住者として早く仙台に詳しくなりたいです！(SC非常勤)

さて問題です。「せんだい CARES」は、いつから始まったキャンペーンでしょうか？
正解は、二〇〇三年と、意外と新しい試みです。11月の約1ヶ月間、仙台市内で行なわれるNPOのイベント情報を紹介し、市民参加の機会を提供するキャンペーン企画として始まり現在に至ります。

実行委員会は、一般公募の床屋さんから女子大生を始め、企業人、行政職員やNPOのスタッフなど、様々な方で運営しています。新メンバーとして今年13名が加わり、コンセプトや方向性の確認など、議論を重ね、今年の方針を考えているところです。
いすれば、CARESKAMPAINを通じて、市民がいつでもNPOに参加できる機会をつくり、その活動を市民に発信できる企画になればいいと思っています。ご声援よろしくお願ひします。進捗状況はHPに掲載していきたいと思ひます。乞うご期待！
http://sendai-cares.net/ (遠藤孝志)



床屋さんから女子大生まで
せんだい CARES
2006 実行委員会
始 動!

BENYのはみ出しエッセイ ◆らくだのブクブク◆ vol.21

地獄は天国？—ネコに優しい町。 常務理事・事務局長 紅邑 晶子

天気の良い冬の日、当センターの隣にある駐車場のわずかばかりの陽だまりで数匹のネコがのんびりと日向ぼっこをしています。けれども、それ以外で見かける町中の猫たちは、俊敏に自動車や自転車、そして人の気配を感じては、裏路地や狭いビルの隙間にサッと消えていきます。

ところが！別府市鉄輪(かんなわ)温泉で見かけたネコたちは、実に実にのんびりとしていました。鉄輪は別府市内に8ヶ所ある温泉地のひとつでシューシューと町のあちこちから熱い蒸気が噴出しています。その噴気をなんとコンロ代わりに使っていました。噴出し口の蒸気の量を調節することと蒸す時間の調節をすれば、素材の味を活かした蒸しものがいろいろできます。海の幸、山の幸、おこわそして肉まん(別府では豚まんといいます。)もOKです。

そんな鉄輪の路地裏散歩をNPO法人「ハ

ットウオンパク」のコーディネートで体験しました。気が付くと町のあちらこちらにネコがいて、いつの間に私たちのあとをずっとついてくるネコもいたり。手を差し出すとすぐに擦り寄ってきます。のんびり、きままに安心してこの町で過ごしている様子です。ふとそれは、ネコだけではなくそこに住む人たちも同じではないかと思いました。人間がギスギスしていれば動物も同じようになりません。ネコに優しい町は人間にも優しい。町の若い人が「毎日が地獄です」と書いてあるTシャツを着ていました。でも、ネコにとってはこの町は天国かもと、見ず知らずの人間の前でどうどうと伸びをしているネコを見て思いました。この路地裏散歩に関心のある方は、「ハットウオンパク」のHPを覗いてみてください。

⇒<https://www.onpaku.jp/com/>

BOOK

『1%の回しっくを見えるまっすじゅくり
市川市発！ 市民が選ぶ
市民活動団体支援制度』

千葉光行著/きょうせい発行 一五二四円(税別)

「税の使いみち決められます—日本初の1%条例—」と題してテレビに取り上げられ、全国の自治体やNPOから注目と期待を集めている「市民活動団体支援制度」、通称「1%支援制度」。これは、納税者が選んだ市民活動団体の支援に、個人市民税額の1%相当額を充てるというものです。この本では、制度の発案者である千葉県市川市長みずからが著者として、制度の構想から実施に至るまでを実に詳細に語っています。

例えば、構想段階において対象となる納税者の定義や税金の種類についての検討過程、さらに実施に向けては議会でのやりとりなどが詳しく書かれています。また、巻末には、条例や予算額一覧、市民の意見とそれに対する市の考え方、アンケート集計結果などの参考資料も掲載されています。

一方、市民に市民活動団体を知ってもらうための過程も実例を踏まえて詳しく書かれています。市川市では、市民が選択する市民活動団体はどのようなことを行っているのか、広報誌特集号、FM放送、ケーブルテレビ等で広く伝えました。これは言い換えれば、市民活動団体の活動を市民に知らせる機会を作り出した、といえるでしょう。

この制度によって「NPOの意識が変わった」と評価されている理由が、この本を読むと十分に理解できます。

「要はやる気だと思っ」という市長の熱い思いを実感できることも、「芽を出したのは行政だが、それに水をやって肥料をやるのは市民であり団体。」という言葉から市民の責任についても再確認できる一冊です。

一方、市民に市民活動団

(渡辺幸代)

活動
報告事務局活動報告
(2006.2/21~4/21)

■事務局/自主事業関連

- ・ センター会議 (2/22・3/29)
- ・ 大町全体ミーティング (3/6・4/20)
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング (3/6・17・4/6・18)
- ・ みやぎNPO夢ファンド説明会 (3/8・15・22)
- ・ せんだいCARES実行委員会 (3/10・4/24)
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター懇話会 (3/13)
- ・ PCブリッチ連絡会 (3/14)
- ・ 戦略会議 (3/16・4/21)
- ・ センダードサロン「ソーシャル・マーケティングのすすめ」[農と子どものコラボレーション] (3/17・4/20)
- ・ 理事会・組織戦略理事会 (83回:3/20,84回:4/21 4/7)
- ・ 目標管理会議 (4/4)
- ・ 「協働の強化書」研究会 (4/12)

■NPO/企業関連

- ・ セミナー「NPOが変える！」/主催:(特)白神自然学校一ツ森校 (2/23 加藤)
- ・ ファシリテーター養成講座/主催:喜多方市民活動サポートネットワーク (2/25・3/12 加藤)
- ・ コミュニティ自立研究会ヒアリング調査/主催:(財)東北開発研究センター (2/26・27・3/7・26・27・28・29・30・31・4/1 加藤)
- ・ ボランティアサークル・リーダー研修会/主催:東北福祉大学ボランティアセンター (3/8 遠藤智)
- ・ 脳トレ塾「ボランティアについて」「高齢者について」/主催:脳トレーニング協会 (3/6・13 小松・真壁)
- ・ 「団塊の世代」を対象とした新市場開拓に関する調査委員会 (3/6 紅色)
- ・ 総合型地域スポーツクラブ育成助成金審査会/(財)仙台市スポーツ振興事業団 (3/8 遠藤智)
- ・ 企業とNPOの協働フォーラム/主催:(特)日本NPOセンター (3/10 加藤)
- ・ (財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク評議員会 (3/14 遠藤智)
- ・ キャリア教育プログラム/主催:ハリウコミュニケーションズ (3/20 紅色)
- ・ シンポジウム「NPO支援の現場から見る応援したいNPOとは」/主催:(特)杜の伝言板ゆるる (3/25 遠藤孝)
- ・ TBC番組審査会 (4/14 紅色)
- ・ 市民活動シンポジウム「動こう!市民活動支援センター設立に向けて」/主催:(社)熊谷青年会議所 (4/15 加藤)
- ・ 日本NPOセンター (4/19 加藤)

■自治体関連

- ・ 花と緑のアドバイザー養成講座フォローアップ講座 (2/21 青木・小松)
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター「活動ストーリーから学ぼう」

- 「NPOいろは塾」「なっとく!NPO法人化のステップ」「行政・企業・NPOの協働ってなんだろう?」(2/24・3/2・11)
- ・ 百年の杜づくりワークショップ/主催:仙台市 (2/25 紅色・青木・小松)
- ・ 長井市中心市街地活性化事業 (3/1 遠藤智)
- ・ 富士宮市職員研修 (3/2 加藤)
- ・ 市民参画講演会「『やりたい活動』から『求められる活動』へ」/主催:亀山市 (3/3 加藤)
- ・ 市民参加型まちづくり懇談会/主催:仙台市都市整備局 (3/3 紅色)
- ・ みやぎNPOプラザ「ブース使用団体選考審査会」「運営評議会」/主催:(特)杜の伝言板ゆるる (3/3 青木・3/17 紅色)
- ・ アテルイの里市民活動フォーラム/主催:水沢地方振興局 (3/4 加藤)
- ・ みやぎ環境学習パートナーシップ推進事業/主催:宮城県、(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (3/4 遠藤智)
- ・ まち美化達人になるためのお役立ち・連続セミナー/主催:仙台市 (3/4・4/18 紅色・遠藤孝)
- ・ 仙台市太白区まちづくり活動助成事業評価委員会 (3/5 遠藤智)
- ・ 地域づくり連携交流会/主催:東北地方整備局 (3/7 紅色)
- ・ 「市民活動を進めるワスリート会議」「市民活動を進めるワーキング」「市民活動ってなんだろう?」/主催:多賀城市 (3/8・11・4/5 加藤)
- ・ 杜の都の市民環境教育・学習推進会議/主催:Feel Sendai (3/10・22 遠藤智)
- ・ 市民トラスの森「定例会」/主催:仙台市建設局 (3/12 青木・佐藤)
- ・ 青葉区まちづくり助成コンペ (3/12:紅色)
- ・ smt 運営協議会 (3/13 紅色)
- ・ 市民との協働によるまちづくり事業講演会「コミュニティを支える力」/主催:塩釜市 (3/18 加藤)
- ・ 「協働って何?」/主催:浦安市市民活動センター (3/19 加藤)
- ・ 市民起業家塾 (3/21・22 加藤)
- ・ 行革の中のNPOと行政との協働のあり方についての講演会/主催:名取市 (3/23 加藤)
- ・ (財)仙台市市民文化事業団評議員会 (3/23 紅色)
- ・ 講演会「NPOとの協働を進めるために」/主催:新潟市 (3/27 紅色)
- ・ 新商品の開発 アイデアを形にする研修会/主催:山形県立米沢商業高等学校 (3/27 遠藤智)
- ・ 山形県NPO協働企画提案事業に係る成果報告会 講演「行政とNPOの協働」/主催:山形県 (3/28 遠藤智)
- ・ みやぎボランティア総合センター運営委員会 (3/29 遠藤智)
- ・ 仙台市社会教育委員の会議 (4/11 紅色)
- ・ 仙台市太白区区民と創るまち推進事業評価委員会 (4/16 遠藤智)

■相談、ヒアリング関連

- ・ 経営相談 (3/17・4/21 加藤)

サポート・ご協力 ありがとうございます

●平成17年度会員 (敬称略・順不同、2006年2月21日～4月21日)

(新規・準会員)

布田剛、村山浩之

(継続・正会員)

(特) まちづくり政策フォーラム、(特) パートナーシップ・サポートセンター、横山英子

(継続・準会員)

畠山未津留

●企業・団体協力 (五十音順、敬称略)

岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて) 富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)

◆NPO経営相談

日程：6/21 (水)

時間：13:00～17:00

会場：せんだい・みやぎNPOセンター

アドバイザー：加藤哲夫

相談料：2500円 予約制

(1時間単位、会員500円割引)

担当：青木

◆セナードサロン

町内会とNPO・連携しましょう会

連携事例の紹介や交流で住民自治をサポートします

日程：6/22 (木)

時間：18:30～20:30

会場：仙台市市民活動サポートセンター

参加費：500円 ※申込制

担当：伊藤、小林、小松(州)、遠藤(智)

発行：特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F

tel 022-264-1281 fax 022-264-1209

E-mail minmin@minmin.org

http://www.minmin.org/

会費・寄付はこちらにどうぞ!

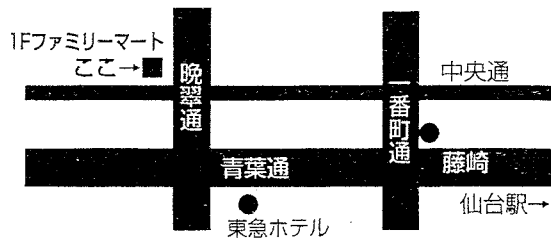
郵便振替：02260-3-16325

加入者：せんだい・みやぎNPOセンター

編集スタッフ：遠藤智栄、真壁さおり、小松州子



■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15～20分



みんな編集後記

いつも行く珈琲屋では、豆に産地や生産者の丁寧な説明文をつけてくれる。その影響もあってか次第に生産国に興味を持つようになった。5月はフェアトレード月間。一杯のコーヒーから世界や経済をのぞいてみるのも面白いですね。(小松(州)) 高校生の頃大好きだった通学路の大げやきが、最近いつの間にか伐採されてしまったことに気がついた。個人的に大切にしていたあの風景ももう見ることはできない…。景観は財産。そんな思いを新たにする私でした。(真壁) 「SOHOしずおか」で起業を熱血支援している小出さんの本を読んだ。「どう支援するか」は難しく勉強不足のことばかりだが、この本には支援のヒントがたくさん詰まっていた。NPO起業・立ち上げを支援している皆さん、必見ですよ。(遠藤(智)) ★みんなのリニューアルアイデア待ってまーす。